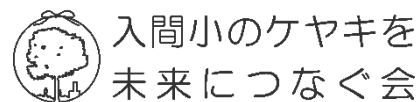


2024年5月10日

報道各位



木の楽器をテーマに音楽会

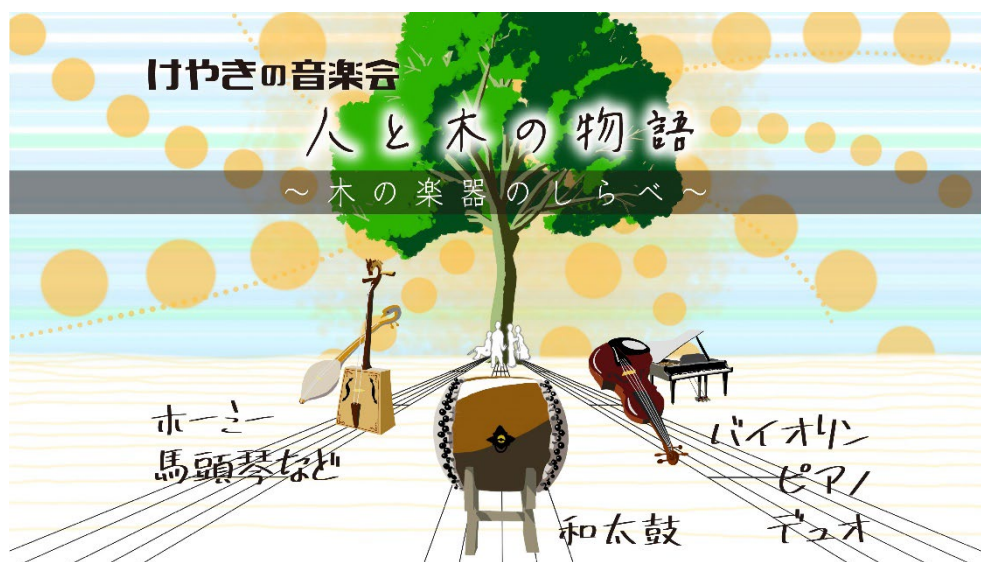
— 概要 —

- ✓ 木でできた楽器の音楽会を6月2日に開催
- ✓ 人と木と楽器をテーマに、講演と演奏の2部構成
- ✓ 狭山市内の演奏団体や県内外のプロの演奏家を招致

入間小のケヤキを未来につなぐ会は6月2日、入曽地域交流センター（狭山市南入曽）で「けやきの音楽会 人と木の物語～木の楽器のしらべ～」を開催します。

この音楽会は、木でできた楽器のはなしとその演奏を通して、木と人の付き合い方を考えようという催し物です。木でできた楽器として、和太鼓、馬頭琴、バイオリン、ピアノの演奏が披露されます。また、人の体も使い、モンゴルの伝統歌唱法「ホーミー」が披露されます。一般的な演奏会に留まらず、前段として講演を入れた2部構成になっています。狭山市内で活動している演奏団体や県内外のプロの音楽家など、入間小のけやき保存や大けやきを活用した地域づくりに日頃ご理解いただいている出演者を招き、地元の人でも遠方から足を運んでいただく人にも聴く価値のある音楽会となっています。

詳しくは、別紙をご覧ください。



「けやきの音楽会」広報ビジュアル



イベント概要

- 【イベント名】 けやきの音楽会（副題：人と木の物語～木の楽器のしらべ～）
- 【日時】 2024年6月2日（日）
開場 13:00/開演 13:30/閉演 16:15
- 【会場】 狭山市入曽地域交流センター大ホール（狭山市南入曽 428-3）
- 【主催者】 入間小のケヤキを未来につなぐ会
- 【プログラム】 第1部：人と木と楽器のはなし（入間小のケヤキを未来につなぐ会 福住）
第2部：演奏の部
演目① 和太鼓（狭山グリーン太鼓）
演目② ホーミー・馬頭琴など（梅木秀徳）
演目③ バイオリン・ピアノ デュオ（宮林陽子・足立恭子 デュオアマール）
※ 各演目の時間は楽器演奏の他に演奏者による楽器説明の時間を含みます。演奏時間は3演目合わせて合計約1時間半です。
- 【入場料】 大人 2,000 円/中高生 1,000 円/小学生以下 500 円
- 【定員】 150 人
- 【情報発信】 WEB ページ（<https://keyakinomirai.com/eventsprojects/concert2024/>）
大けやきの瓦版（当会発行紙）の入曽地域新聞折込、チラシ配布、SNS（X、Instagram、Facebook）など



この件に関する
お問い合わせ先

電話 050-3635-1920（代表 福住）

Eメール keyakinomirai1920@gmail.com

WEBサイトニュースページ（<https://keyakinomirai.com/newsroom/>）はこちら▶



けやきの音楽会

人と木の物語

～木の楽器のしらべ～

6月2日(日)

午後1:30～

開場 午後1:00
閉演 午後4:15

入場料

大人2,000円
中高生1,000円
小学生以下500円

ホーロー
馬頭琴など

梅木秀徳

楽器になって新たに紡がれる
樹木と人との深くで永い関係性
音楽を通して考えてみませんか？

和太鼓

狭山グリーン太鼓

バイオリン
ピアノ
デュオ

宮林陽子・足立恭子
デュオ アマーデ

第1部 人と木と楽器のよなし

第2部 演奏の部

※演奏時間は約1時間半です。

場所

入曽地域交流センター大ホール
埼玉県狭山市南入曽 428-3
西武新宿線入曽駅東口徒歩6分



ご予約・お問い合わせ

公式WEBサイトまたは電話から

Q 入間小のケヤキを未来につなぐ会

検索



TEL 050-3635-1920

※定員に達した場合は、当日券の販売はありません。
出演者や楽器はやむを得ず変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

主催



入間小のケヤキを
未来につなぐ会

演奏者紹介



和太鼓 狭山グリーン太鼓

埼玉県狭山市笹井にて 2004 年に【創作和太鼓集団】として発足。“ステージを楽しむ”事を目標に地元の有志で結成、当初は地元狭山市笹井の納涼祭を中心に出演し、徐々に狭山市内から近郊の出演依頼を上げていく。現在大人 11 名・子供 9 名、子供の部・大人の部の別部門で演奏していた會を 2023 年より一本化、市内に限らず近隣市内で、下は 7 歳から上は 50 代のメンバーが所属、主に市内近郊を中心に近隣市都県での演奏を中心に活動中。狭山市内・入間市・川越市・所沢市・青梅市等では定期的に出演。主に地元 / 企業イベント、祭り、コンサート、神社や OP セレモニー等催事、等。演奏依頼・見学・メンバー募集随時受付中。詳細は狭山グリーン太鼓 HP・SNS、YouTube チャンネルまで。“みんなと楽しみながら出来ること”を前提に且つ真剣に質の高い演奏を目指していくことを目標に日々活動中。



ぼとうきん ホーミー・馬頭琴など 梅木秀徳

1977 年岩手県陸前高田市生まれ。98 年子どもの頃から憧れていたモンゴルに初めて渡り、伝統楽器「馬頭琴」を手にしたことをきっかけに、モンゴルの音楽のとりこになる。モンゴル国最高のホーミー指導者バートル・オドスレン氏に素質を認められ、同氏の熱心な指導の下、「ホーミー」を修得。モンゴルホーミー協会からプロフェッショナルホーミー歌手の認定を受ける。2003 年 9 月、西モンゴル・ホブド県にて開催されたホーミー・フェスティバル(コンテスト)において日本人として初めてモンゴル・ホーミーの弾き語りの名曲である「アルタイ山讃歌」を堂々披露し、聴衆の喝采を浴び、高い評価を得て、同コンテストの特別賞を受賞する。また、モンゴル北西に隣接する南シベリアのロシア連邦トゥバ共和国の喉歌「ホーメイ」やロシア連邦アルタイ共和国の喉歌「カイ」の演奏にも力をいれ、当地を数度に渡って訪れ修行をする。現在も、モンゴルやシベリアの地を訪れながら、国内外各地でホーミー・馬頭琴のプロの演奏家として活躍している。

【ホーミーとは】モンゴル・アルタイ地方に伝わる、喉を使った伝統的歌唱法。低音と高音を同時に一人で発声し、その響きは非常に美しく幻想的です。

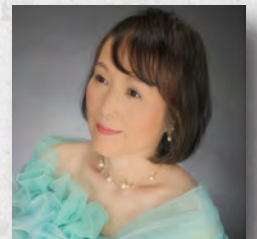


バイオリン 宮林陽子

山形大学教育学部特設音楽科卒業。東京フィルハーモニー交響楽団に在団後、渡独。ダルムシュタット歌劇場管弦楽団、北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団等に所属し、演奏活動。フランクフルト音楽大学で E. パイネマン教授に師事し研鑽を積む。帰国後はソロ、室内楽の分野で活動し、ロザムンデ弦楽四重奏団、薔薇のデュオを結成し演奏活動。大学非常勤講師、市民オーケストラのトレーナーを務め、後進の育成にも力を注いできた。

デュオ アマーテ

ピアノ 足立恭子



尚美短期大学にて鎌田婦紗子氏に師事する。1989 年に渡独。ケルン音楽大学ヴッパータール校にて Harald Bojé 教授に師事。彼のもとで研鑽を積む。2 台ピアノやクラリネットとの演奏会を開催する。帰国後はソロ活動ほか、ピアノ講師として活動する。合唱団の伴奏もつとめる。2018 年よりヴァイオリンの宮林とデュオを組み、各地でサロンコンサートを開催している。